

# 「安全、安心で快適な生活環境の整備に関する条例」の積極的活用を

## 田尻町安全、安心で快適な生活環境の整備に関する条例

安全かつ安心で快適なまちに暮らすことは、町民共通の願いである。

また、安心して日常生活を営むことができる住んでみたいまち、住み続けたいまちを築き、将来に引き継ぐことは、私たちの責務である。しかし、都市化や高度情報化の進展により、地域社会の連帯感の希薄化や規範意識の低下を招き、安全、安心への不安感が高まりつつあることは憂慮すべきことです。

安全で安心して快適に暮らすことができる地域社会を実現するために、自分たちのまちは自分たちで良くするという住民自治の精神に基づき、町、町民及び事業者等が一体となって安全・安心・快適なまちづくりを町民協働で進めていくことに加え、将来を担うこどもへの手本となることと決意し、この条例を定める。

## 共産党議員団が実施した町民アンケートに寄せられた声

「ローソンと旧 26 号道と駅から旧 26 号までの道を走るバイクや車の騒音がうるさい。私個人だけの問題ではないので、ぜひ議論し閲覧板や広報に載せてほしい。アパートやマンションが増えたのに防犯に対する措置がない。本当に困っているので、ちゃんと議論して下さい。」

担当課長は「昨年、コンビニで若者が、たむろして騒いでいる問題で警察に通報があったようです。今年の3月に駅前グラウンド付近に防犯カメラを設置、警察の巡回強化をお願いしたり、青色パトロールも行っている。今後も警察と協議してやっていく」と答弁がありました。  
「安全・安心」条例の積極的な活用については、「すばらしい条例だと思うので、積極的な活用を考えたい」などと答弁がありました。

## 6日 小川議員が一般質問で求める

6日、9月定例町議会が開会し、大門・吉開・小川・伊藤・中川の順で議員の一般質問が行われました。傍聴者は、5名でした。小川議員が、質問したうち、「通行車両の騒音、防犯対策」を求めた質問を速報します。吉開議員を含め、あとは次週で。

小川ゆうじの  
「ぶんぶん赤旗」の  
読者だよ

小川・吉開 検索

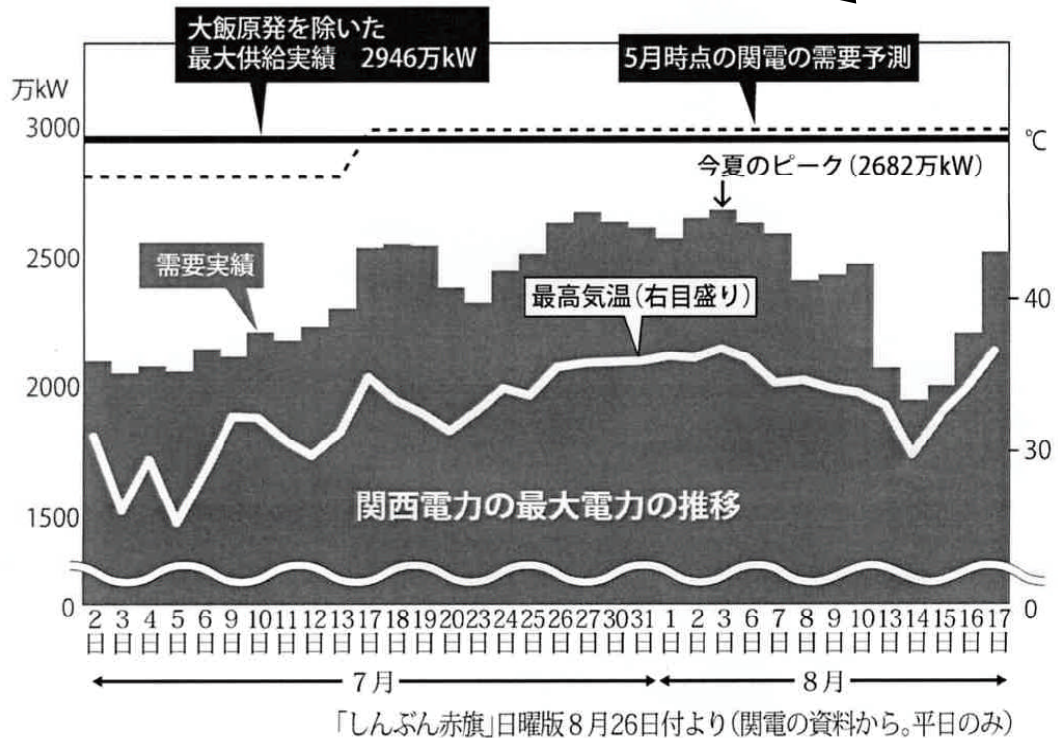
田尻町支部党活動募金  
1口200円のお願

なんでも相談は  
月・水・金の  
午前10時〜正午  
465-9939

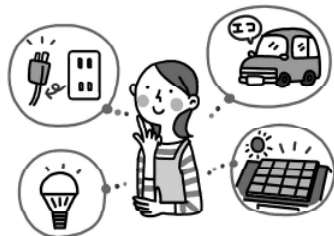
9月の弁護士相談は、  
14日(金)  
夕方6時〜8時  
事前予約が必要です

# 猛暑でも電気足りた 何だった？ 原発再稼働

## 大飯3・4号すぐ停止を 共産党が関電に申し入れ



夏場の電力不足をあまり「停電」で脅してまで大飯原発3、4号機の再稼働を強行した野田内閣と関西電力。この夏は、一昨年並の猛暑なのに、原発なしでも電力に余裕があることが明らかになりました。(図参照)。「大飯原発は停止せよ」、「一刻も早く原発ゼロを」の声が高まっています。



共産党近畿ブロック事務所と近畿の6つの府県委員会は、9月5日、関電本店に「今夏、原発なしでも電力が足りていたことが関電の資料で明らかになった」として、大飯原発3・4号機停止、高浜原発再稼働反対、原発撤退を申し入れました。これには、山下よしき参院議員、清水ただし・堀

内照文両衆院比例候補らが参加しました。申し入れでは、「再稼働は何だったのか問われる」と指摘。大飯など6つの原発で活断層の再調査が指摘されていることをあげ、「高浜再稼働まで言及しているのはもってのほか」「原発撤退を決断し、再生可能エネルギーの爆発的普及を」求めました。